大阪の下町に暮らす兄妹の不思議な体験を通して、人の哀しみや温かさを繊細な筆致で描き、2005年・第133回直木賞を受賞した朱川湊人の小説「花まんま」を、鈴木亮平と有村架純の初共演で映画化

ホームページ

4月12日（日）ユープラザうたづ

上映時間　①10：30～12：28　②13：30～15：28　118分

主催：香川映画センター　087-835-2077　共催：ユープラザうたづ　0877-49-8020

※ 駐車場には限りがありますので公共交通機関等をご利用ください。

前売料金：一般1100円（当日1500円）中高生（当日のみ500円）

プレイガイド
ユープラザうたづ
取扱時間　9:00～18:00

割引券：このチラシをご持参の方は、大人　お一人様　1100　円で　5名様までご利用できます。

大正末期から昭和初期にかけて童謡と詩を発表した金子みすゞの「花のたましい」という短い作品がある。散った花の魂は仏様の花園に生まれ変わる、だって花は優しいから、蝶に甘い蜜をやり、人には匂いを与え、散った花びらさえもままごとの御飯になってくれるから——